

第3回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日時 令和2年 9月17日(火) 14:00~15:43
2. 出席者 米川英樹委員、植野康夫委員、中川直子委員、
加藤学長、宮下理事(教育)、渡辺理事(総務)、藤井副学長(企画)、伊藤副学長(研究)
- 陪席者 浅田理事(渉外連携・附属学校園)、高橋副学長(国際交流・地域連携)、
浅野会計担当監事、営業担当監事
総務課長、企画連携課長、財務課長、教務課長、学生支援課長、施設副課長、
入試課長、教育研究支援課長、総務課秘書・広報担当係長

3. 議 題

◎審議事項

- 1 令和2年度国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)申請について(資料1)

◎報告事項

- 1 新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応について(資料2)
- 2 令和2年度国立大学法人ガバナンス・コードの実施状況報告書の作成について(資料3)
- 3 大学院改組をめぐる検討状況について(資料4)
- 4 「魅力的な地方大学の実現等のための改革パッケージ」の策定について(資料5)
- 5 国立大学法人奈良(仮称)の設置構想について(案)(資料6)

4. 議 事

◎新監事の紹介

- 業務担当監事 【再任】菅 万希子(すが まきこ)国際ファッション専門職大学教授
会計担当監事 【新任】浅野 禎彦(あさの ただひこ)浅野会計税務事務所代表

◎審議事項

- 1 令和2年度国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)申請について
企画連携課長より、資料1に基づき、令和2年度国立大学改革強化推進補助金計画調書
(国立大学経営改革促進事業)について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

◎報告事項

- 1 新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応について
総務課長及び理事(教育担当)より、資料2に基づき、新型コロナウイルス感染症に対する本学
の対応について報告があった
主な意見は次のとおり
○コロナの状況下での学長メッセージの役割は大きい。発信を続けていてもらいたい。
- 2 令和2年度国立大学法人ガバナンス・コードの実施状況報告書の作成について
企画連携課長より、資料3に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードの実施状況報告書を作成
し、1月末までに大学webサイトに掲載する予定であることについて報告があった。
- 3 大学院改組をめぐる検討状況について
企画連携課長より、資料4に基づき、大学院改組をめぐる検討状況について報告があった。

主な意見は次のとおり

- 奈良教育大学にとって修士課程を残すことは意味のあることだと思う。修士課程2年間で学芸員等の資格を取得することはできるのか。取得できればそれが強みになる。
→大学院在学中の2年間のみで、新たな資格を取得することはできない。

4 「魅力的な地方大学の実現等のための改革パッケージ」の策定について

企画連携課長より、資料5に基づき、「魅力的な地方大学の実現等のための改革パッケージ」の策定に向けた検討会議が内閣府において設置され、検討が開始されたことについて報告があった。

5 国立大学法人奈良（仮称）の設置構想について（案）

企画連携課長より、資料6に基づき、国会審議に向けて、法人統合の設置構想を両学で作成していること、また、随時バージョンアップしていくものであるが、今後バイブル的な取扱いとすることについて報告があった。

主な意見は次のとおり

- 国際化にもっと力を入れても良いのではないか。